

**いよいよ解散・総選挙——国民の願い実現へ、大企業中心・アメリカいいなりの、異常な政治のゆがみを正す、日本共産党にご支援を！**

**「ご近所のみなさん、日本共産党です。」**

連日のようにくり返される、自民党総裁選挙報道に、うんざりしていらっしやる方も、多いのではないのでしょうか。

自民党の、五人の、総裁候補の政治姿勢には、国民の、暮らしの痛みを思いやる心が、感じられません。大企業ばかり応援して、国民に痛みばかり押しつけてきた、「構造改革」への反省が、全くありません。

はつきりしているのは、総裁選挙に続いて、解散・総選挙が行われることです。

自民・公明政治に代わる、新しい政治を、日本共産党といっしょに、つくっていいこうではありませんか。

**みなさん。**

今度の選挙で、若い人たちを中心に広がる、貧困・「ワーキングプア」を、無くしていくために力をあわせようではありませんか。

毎日、毎日、あした仕事があるのかどうかわからない、いつ止めさせられるか不安でしかたがない——こういう働かせ方をされている青年が、たくさんいます。

人間を使い捨てにする働かせ方を、「新時代の日本的経営」だなどといって、広げてきた、財界・大企業と、そのいいなりになってきた、自民・公明の政治の責任は、本当に大きいのではないのでしょうか。

九十九年に、派遣労働を原則自由化した、労働者派遣法の大改悪が行われた時は、民主党まで賛成しました。反対したのは、日本共産党だけでした。

財界・大企業の横暴とたたかう、日本共産党といっしょに、労働者派遣法の抜本改正など、人間的労働のルールをつくって、正社員への道を広げさせようではありませんか。

**みなさん。**

今度の選挙で、後期高齢者医療制度を、廃止するために、力をあわせようではありませんか。社会保障予算の自然増分を認めないで、毎年毎年、二千二百億円ずつ減らし続け、あげくの果てに、七十五歳以上のお年寄りに、差別医療——こういう政治を、続けさせるわけにはいきません。

お年寄りをいじめ、社会保障をどんどん悪くしてきたのも、社会保障の負担が増えるのを嫌がる、財界・大企業と、そのいいなりになってきた、自民・公明の政治です。

二〇〇〇年、健康保険法改悪の際にあげられた、「付帯決議」で、後期高齢者医療制度の原型——高齢者を囲い込み、医療を制限する、「別立て」と「包括払い」——がもりこまれたときは、民主党まで賛成しました。このとき、キツパリ反対したのは、日本共産党だけでした。

後期高齢者医療制度廃止のために、一貫して頑張る、日本共産党を応援してください。

**みなさん。**

大企業いいなり政治を改め、大企業に社会的な責任を果たさせる立場に立てば、医療・社会保障の財源を、つくることはできます。

トヨタ自動車など、大企業は、バブルの時の二倍近い利益をあげています。ところが、納める税金は増えるどころか、減っている始末です。減税をし過ぎたからです。

国民の方はといえば、不安定雇用の広がり、収入の方は減る一方です。ところが、税金や保険料の負担は増える一方——こんな不公平はありません。

大企業への行きすぎた減税の見直しで、医療・社会保障の財源を、つくらせようではありませんか。

アメリカいいなり政治を改め、自主的な外交で、年間五兆円にのぼる軍事費を、減らさせようではありませんか。米軍支援の給油活動は、やめさせようではありませんか。

そうすれば、消費税増税の必要はなくなります。

**「ご近所のみなさん。」**

いよいよ間近に迫った、解散・総選挙。政治の自身を**大本から変える**選挙です。大企業中心・アメリカいいなりの、異常な政治のゆがみを正す、日本共産党を、よろしくお願いします。